

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

本城西保育園

[第三者評価事業に参加するにあたり]

「現在の保育で果たして評価基準を満たしているのか？」と不安でしたが創立32周年目を迎えるなかで、「今日まで培ってきた保育をありのまま見て頂ければいい！参加する事により保育にかける思い、実績などを見直せば」という思いで第三者評価に参加いたしました。

「今、何が足りないのか？」「出来ているものをどんな形にすればよいのか？」等取り組み、まずは、自己評価を数回にわたって行い、そこで足りなかった事について話し合いを重ねて、日々の保育を見直しそれを職員全員、園全体で把握出来ました。

反省、評価を繰り返すことで良い学びの機会となり何より成果となりました。

[評価結果を受けて]

第三者から見た保育者の姿が見えたことで、保育者としての自覚や向上心を園内研修において話し合い、全職員一人ひとりの意識の向上へ繋がりました。

保護者の立場に立って、是正すべき点は見直し、子どもの育ちを共有していく努力の必要を認識する機会になりました。

指導計画の項目については、保育課程の見直しの後に、一人ひとりの職員が、計画表の製作に対する理解を一層深め、保育指針に基づいた文言や、月案の様式を今一度、指導計画についての見直しを行い、保育指針を更に読み直し、読み合わせなどして園内研修を行っていく事にしました。

他の項目については、私たちが行っていた自己評価より委員評価の方の高い評価をたくさん頂けた事は、本当に嬉しく思いました。この事が、職員全員の自信となってさらに意欲と向上心に繋がっています。

[今後の課題]

今後は、指導頂いた所をなおす事のみではなく、「良い所は今以上に」を目標に日々保育に精進していきたいと考えています。

先生方にたくさんの事をアドバイスして頂いたことで、自らを見直して新たな道標となったこと、職員一同心より感謝しています。

[終わりに]

第三者評価事業に参加させて頂き本当にありがとうございました。今後も子どもを中心に園・保護者・地域が一体となって共育でのパートナーとなりえるよう全職員が一丸となって努力・精進し保育をより一層充実したものにして参ります。